

B'z 無観客配信ライブ「B'z SHOWCASE 2020 -5 ERAS 8820- Day2」ライブレポート

松本孝弘（ギター）と稲葉浩志（ボーカル）による最強のロックバンド“B'z”が初の無観客配信ライブ「B'z SHOWCASE 2020 -5 ERAS 8820-」を開催。10月31日から5週連続で行われる今回のライブは、デビューした1988年から現在（2020年）までの32年間で“5つの時代（5 ERAS）”に分けて、それぞれの時代に発表された楽曲で構成。

11月7日は「Day2」。会場となったZepp Haneda（TOKYO）の外観や飛び立つ飛行機を映したオープニングムービーに続いて、1994年にリリースした7thアルバム『The 7th Blues』のオープニングナンバー「LOVE IS DEAD」でスタート。冒頭にある電話での会話は「もちろん今でもバリバリプレイしてるよ。さらに進化して最高だぜ！こんな世の中だけど、ステイホームでいつも聞いてたよ。日本のロックンロールバンドで30年以上続いているんだ」と、新しい英語バージョンに変更。コンクリート打ちっぱなしの背景も、硬派でパワフルなロックサウンドの雰囲気合っていた。続けて同じく『The 7th Blues』の2曲目、「おでかけしましょ」を演奏し、さらにヒートアップしていく。

ブルースハーブを吹きながら、稲葉が「B'zのSHOWCASEによくこそ」と呼びかけ、ブルージーなイントロから「Don't Leave Me」へ。エモーショナルなボーカルが聴く者の心に突き刺さる。そして映像がモノクロに変わり、「闇の雨」を披露。ストーリー性のある歌詞、松本が黒いレスポールで奏でる美しい旋律、そしてモノクロならではの映像美が融合し、まるで映画のワンシーンのように感じられた。

「みなさん、お元気ですか？ 元気そうですね。たとえ目の前にいなくても、お互い、気配を感じ合いながら、皆さんも遠慮せずに、こっちのステージの方に想いを、気持ちを送ってみてください！と、声援に耳を傾ける仕草をしながら、出来るでしょ？来てます。感じてますよ。その調子で道端でも電車の中でもお茶の間でも、遠慮なく気を送ってきてください！」と稲葉が視聴しているファンに呼びかけ、「YOU & I」に突入。巡り逢えたことへの喜びを綴った歌詞はいつの時代も変わらず、改めてこの曲の良さを実感。「夢見が丘」では松本のギターと稲葉のボーカルが共に歌っているようなメロディを奏で、B'zならではのアンサンブルの魅力も感じさせる。

しっとりと聴かせた後、雰囲気をガラッと変えて「love me, I love you」へ。イントロが鳴り響くと、稲葉がステージから客席に降りフロアも飛び出し、今回のライブの告知看板が見える屋外に出たかと思えば、再び場内を隈なく廻るというミュージックビデオさながらのパフォーマンスで楽しませてくれた。

ブルージーな演奏で始まった「もうかりまっか」も久しぶりにライブで演奏されたレア曲。稲葉が「もうかりまっか」と歌って問いかければ、松本が「ぼちぼちでんな」「あきまへんわ」と返す。他にも、「あんた、あの子のなんなのさ」というセリフを松本が語り、稲葉が「羽田のヨーコ、ヨコハマヨコスカ。一体どこなんですか？」とツッコミを入れるなど、パ

ロディー要素も満載。寸劇的にコロナ禍での“ぼやき”を聞かせるなど、B'zのユーモアのある一面もしっかりと見せてくれた。おもちゃの銃でギターを弾く松本、ランプを振り回す稲葉など、演出要素を豊富に盛り込んだこの曲は、この日のハイライトのひとつだったに違いない。

「The Wild Wind」から後半戦に突入。松本と稲葉がステージから客席へ降り、燃え盛る炎の中でギターがむせび鳴き、歌声が切々と響く。ステージに戻ると、「次の曲は、今年の春、非常事態宣言が出ていた頃に“ステイホーム”で、我々も実際にリモートでセッションした曲です。一緒にいないけど、みんなの気持ちが集まってひとつの楽曲を成立させるという、そういう面白みや楽しさも学びました。皆さんが見てくれて勇気づけられました」と曲紹介をし「HOME」を演奏。途中、稲葉が「ちょっと寄り道」と言い、「あの頃、我々もあまり会わなかったので、ステイホームと言われていた時期に皆さんがどう過ごしていたのか、曲の途中ですけど聞いてみようと思います」と、サポートメンバーとのトークを展開。ギターの大賀好修には「ルービックキューブ」、キーボードの増田隆宣には「ロシア語」、ベースの徳永暁人には「小さな仏像」、ドラムの田中一光には「社交ダンス」と、SNSで仕入れたというネタ（ガセネタ）で稲葉がサポートメンバーにどんどん絡んでいくものの、ことごとく否定されてしまう。さらには松本にまで「久しぶりに切手の収集を再開したそうで」と絡んでいくが、松本から「そうそう。見返り美人とか…って、やってないよ！」とノリツッコミで返されてしまう。そして、ファンに向けて「皆さんどうですか？今回のことで家で楽しむという新しい発見もあったと思いますが、やっぱりみんな外へ出て集まって騒ぎたいよね？まだ時間はかかるかもしれませんが、いつかまた皆さんと一緒に、思い切り騒ぎたいと思っています」とメッセージを送り、寄り道から「HOME」へと戻った。

終盤は「ミエナイチカラ ～INVISIBLE ONE～」から疾走感あふれる「スイマーよ！！」へ。エフェクトをかけた映像演出で魅せた「Liar! Liar!」、火花の特効と共に勢いを増した「さまよえる蒼い弾丸」と、盛り上がりも最高潮を迎えた。

「また Day1 とも雰囲気が違う中、やらせていただきましたがどうですか？」と稲葉が松本に感想を求めると、「楽しいよね。こうやってみんな演奏できることも当分なかったしね」と喜びを伝えた。そして、稲葉がファンに「今日、歌える曲あったでしょうか？あと1曲やりたいと思いますが、周りを気にせず思い切り歌いたい方、歌ってみてください」と呼びかけ、「Calling」を披露。“この声が聞こえるかい”“どうか苦しまないで”というフレーズを今の状況で聴くと、リリース当時とは違った意味も感じ取ることが出来、勇気をもたらえた。

Day2 は 1994 年から 1998 年までの 5 年の軌跡を振り返ったステージとなった。「また来週！」という言葉で稲葉が締めくくった通り、「B'z SHOWCASE 2020 -5 ERAS 8820-」はまだまだ続く。次回、「Day3」は 11 月 14 日（土）19 時から配信予定。セットリストもガラッと変わる 3 番目の時代（ERA）の配信ライブもぜひリアルタイムで体感しよう。

【SETLIST】

01. LOVE IS DEAD
02. おでかけしましょ
03. Don't Leave Me
04. 闇の雨
05. YOU & I
06. 夢見が丘
07. love me, I love you
08. もうかりまっか
09. The Wild Wind
10. HOME
11. ミエナイチカラ ～INVISIBLE ONE～
12. スイマーよ！！
13. Liar! Liar!
14. さまよえる蒼い弾丸
15. Calling

【公演詳細】

B'z SHOWCASE 2020 -5 ERAS 8820- Day1～5

- Day1：2020年10月31日（土）18:00 開場 / 19:00 配信
- Day2：2020年11月7日（土）18:00 開場 / 19:00 配信
- Day3：2020年11月14日（土）18:00 開場 / 19:00 配信
- Day4：2020年11月21日（土）18:00 開場 / 19:00 配信
- Day5：2020年11月28日（土）18:00 開場 / 19:00 配信

※開場は、各配信チャンネルオープン時刻です。ライブ配信開始は19:00からとなります。

※B'z PARTY 会員限定チャンネルは、17:30 開場 / 18:30 特典映像配信開始となります。

【チケット料金】（全配信メディア共通）

¥3,500（税込）

※アーカイブ配信も同額となります。

※別途、配信メディアごとに手数料が必要です。

【配信メディア・各チケット購入先】

- ・PIA LIVE STREAM
- ・ローチケ LIVE STREAMING
- ・Streaming +
- ・LINE LIVE-VIEWING
- ・新体感ライブ CONNECT
- ・GYAO!
- ・uP!!!
- ・U-NEXT
- ・B'z PARTY (PIA LIVE STREAM・B'z PARTY 会員専用版 / 特典映像配信付き)

【チケット発売日】

2020年9月11日(金) 12:00～ 一斉発売開始(購入期限は各配信日翌日 22:00 まで)

※視聴方法、チケット購入に関するご不明点は、各配信メディアへお問い合わせください。

※B'z PARTY 会員専用版プラットフォーム PIA LIVE STREAM のみ、各配信日当日の 18:00～21:00 の間はチケット販売が停止となりますのでご注意ください。

【配信ライブに関する詳細はこちら】

<http://bz-vermillion.com/news/200911.html>